

スクリーニングの手順

記載の有無
※表紙①に反映されます

あり

病院名: 東大阪市立総合病院

期間: 平成26年9月1日現在

スクリーニングの項目、対象、方法、タイミング、スクリーニングした結果の確認者、スクリーニング結果の活用方法等についてご記載ください。

役職等に個人名が記載されていないことをご確認ください。

このシートに貼付することが難しい場合、ファイル名を別紙16とした電子ファイル、別添資料を提出すること。

別添資料の提出有無 なし (あり・なし)

ファイル形式 (ワード、一太郎、リッチテキスト、エクセル、パワーポイント、PDF、その他)

その他の場合ファイル形式を記載してください。

【スクリーニングの項目】

- ・気になっていること、心配なこと
- ・そのことをどうしたいか
- ・からだの症状でつらいことや、生活への影響はあるか
- ・気持ちやこころの状態でつらいことや、生活への影響はあるか
- ・からだや気持ち、こころの状態でつらいことを専門チームに相談することができるが希望するか
- ・看護師が連携が他職種との連携が必要と判断するか

【対象】

外来化学療法室で治療を受けているがん患者さんを対象とする
ただし、対象患者は拡大していく

【方法】

- ①質問票を患者に配布し記入してもらう
- ②外来化学療法室の看護師もしくはがん性疼痛看護認定看護師が確認し、担当者にフィードバックする
- ③担当者はフィードバックされた内容に基づき対処する
- ④フィードバックの内容・結果を医療情報管理課でデータ入力する
- ⑤入力された結果をもとに緩和ケアチームで評価する
- ⑥組織的な検討課題があれば、がん診療委員会に上申する

【タイミング】

初回診療時、レジメン変更時、患者さんやご家族からの要請時などで、最低でも1年に1回は更新する

【スクリーニングした結果の確認者】

- ・外来化学療法室の看護師(がん化学療法看護認定看護師含む)
- ・がん性疼痛看護認定看護師

【スクリーニング結果の活用方法】

スクリーニング結果をフィードバックされた担当者がその内容に基づき対処
結果と対処方法について、緩和医療チーム部会で評価・検討する

【別紙】

生活のしやすさに関する質問票

【入院患者について】

- ・病棟看護師が通常の看護の中で症状評価を行っており、直接ないし主治医にフィードバックして緩和ケアチームへ依頼できる
- ・がん患者の多い病棟では、リンクナースが配置されている
- ・緩和ケア内科や緩和ケアチームの看護師が毎日ラウンドしており相談できる